

2014年度第2四半期決算について

<損益実績(連結)>

	2014 上実	2013 下実	2013下実 →2014上実	2014上見 (7/31公表)
売上高	27,784	28,415	- 631	27,500
経常利益	1,763	1,874	※1 - 111	1,500
特別損益	▲ 49	215	※2 - 264	
当期純利益	1,122	1,271	- 149	850
<一株当たり当期純利益>	< 12.3 >	< 13.9 >	< - 1.6 >	< 9.3 >
有利子負債	20,779	22,963	- 2,183	
D/ELレシオ	0.74	0.86	-0.12	

※1 連結経常利益の対前半期及び対前回公表分析

	2013下実 →2014上実	対前回
連結経常利益 差異	-110	+260
1. 製鉄事業	-40	+230
① 生産出荷	+40	-30
② 販売価格・構成	-220	+180
③ 原料価格(キャリーオーバー含む)	+400	~
④ 物流費・電力他コストアップ	-110	~
⑤ コスト改善(統合効果含む)	+150	-50
⑥ 在庫評価差	-150	+100
⑦ グループ会社	+40	+100
⑧ 名古屋 停電・コークス炉火災事故影響	-90	-70
⑨ その他	-100	~
2. 非鉄事業	-80	+40
3. 調整額	+10	-10

※2 特別損益内訳

	2014 上実	2013 下実	2013下実 →2014上実
特別損益合計	▲49	215	- 264
投資有価証券売却益	52	255	- 203
設備休止関連損失	▲101	▲40	- 61

<諸元>

(1) 当社

	2014 上実	2013 下実	2013下実 →2014上実	2014上見 (7/31公表)
連結粗鋼生産量(万t)	2,402	2,389	+ 13	2,430程度
単独粗鋼生産量(万t)*1	2,288	2,264	+ 24	2,320程度
鋼材出荷量(万t)*1	2,111	2,105	+ 6	2,130程度
鋼材価格(千円/t)*1	86.8	87.6	-0.8	86程度
為替(円/\$)	103	102	1円安	102程度

*1 日鉄住金鋼鉄和歌山を含む

(2) 全国

	2014 上実	2013 下実	2013下実 →2014上実	2014上見 (7/31公表)
粗鋼生産量(万t)	5,556	5,571	- 15	5,560程度
鋼材消費(万t) *2	3,193	3,336	- 143	3,197
(ウチ 製造業)	(2,010)	(2,092)	(- 82)	(2,031)
<製造業比率>	< 63.0% >	< 62.7% >	<+ 0.2% >	< 63.5% >
普通鋼鋼材消費(万t)	2,540	2,668	- 128	2,536
建設	1,118	1,180	- 62	1,103
製造業	1,422	1,488	- 66	1,433
特殊鋼鋼材消費(万t)	653	668	- 15	661
国内メーカー間在庫(万t)	*3 593	568	+ 25	
薄板三品在庫(万t)	*4 433	411	+ 21	

*2 当社推定値 *3 9月末(速報) *4 8月末(確報)

<セグメント情報>

	2014 上実	2013 下実	2013下実 →2014上実	2014上見 (7/31公表)
売上高	27,784	28,415	- 631	27,500
製鉄	24,662	24,943	- 281	24,500
エンジニアリング	1,553	1,798	- 245	1,400
化学	1,122	1,150	- 28	1,150
新素材	182	179	+ 3	160
システムソリューション	948	984	- 36	860
調整額	▲ 684	▲ 640	- 44	▲ 570

	2014 上実	2013 下実	2013下実 →2014上実	2014上見 (7/31公表)
経常利益	1,763	1,874	- 111	1,500
製鉄	1,591	1,630	- 39	1,360
エンジニアリング	48	140	- 92	50
化学	43	30	+ 13	30
新素材	11	7	+ 4	5
システムソリューション	72	79	- 7	50
調整額	▲ 5	▲ 13	+ 8	5

【剰余金の配当(第2四半期末)について】

当第2四半期末の剰余金の配当につきましては、前回(7/31)公表のとおり、1株につき2円(連結配当性向16%)とさせていただきますことと致しました。

なお、期末の配当方針につきましては、第3四半期決算発表時に判断し、公表する予定です。

2014年度業績見通しについて

2014年10月30日
新日鐵住金株

<損益見通し(連結)>

(単位:億円)

	2014FY 見通し			2014上実 →2014下見	2013FY 実績	2013FY実 →2014FY見	2014FY見 (7/31公表)
	上実	下見					
売上高	56,500	27,784	28,716	+ 932	55,161	+ 1,339	
経常利益	4,000	1,763	2,237	※1 + 474	3,610	※2 + 390	4,000
当期純利益	2,500	1,122	1,378	+ 256			
<一株当たり当期純利益>	< 27.4 >	< 12.3 >	< 15.1 >	< + 2.8 >			

※1 連結経常利益差異の内訳

2014上実 →2014下見	
連結経常利益 差異	+470
1. 製鉄事業	+360
① 生産出荷	+150
② 販売価格・構成	-1,000
③ 原料価格(キャリアオーバー含む)	+1,000
④ 物流費・電力他コストアップ	-100
⑤ コスト改善(統合効果含む)	+250
⑥ 在庫評価差	-100
⑦ グループ会社	-60
⑧ 名古屋 停電・コークス炉火災事故影響	+20
⑨ その他	+200
2. 非鉄事業	+80
3. 調整額	+30

※2 連結経常利益差異の内訳

2013FY実 →2014FY見	
連結経常利益 差異	+390
1. 製鉄事業	+340
① 生産出荷	+200
② 販売価格・構成	-1,200
③ 原料価格(キャリアオーバー含む)	+2,000
④ 物流費・電力他コストアップ	-400
⑤ コスト改善(統合効果含む)	+800
⑥ 在庫評価差	-460
⑦ グループ会社	+130
⑧ 名古屋 停電・コークス炉火災事故影響	-240
⑨ その他	-490
2. 非鉄事業	+10
3. 調整額	+40

<諸元>

(1) 当社

	2014FY 見通し			2013FY 実績	2014上実 ↓ 2014下見	2013FY実 ↓ 2014FY見
	上実	下見				
連結粗鋼生産量(万t)	4,860程度	2,402	2,460程度	4,816	+ 58程度	+ 44程度
単独粗鋼生産量(万t)*1	4,610程度	2,288	2,320程度	4,567	+ 32程度	+ 43程度
鋼材出荷量(万t)*1	4,290程度	2,111	2,180程度	4,202	+ 69程度	+ 88程度
鋼材価格(千円/t)*1 為替(円/\$)	86程度 105程度	86.8 103	85程度 107程度	86.0 100	- 1.8程度 4円安程度	- 5円安程度

*1 日鉄住金鋼鉄和歌山を含む

(2) 全国

	2014FY 見通し			2013FY 実績	2014上実 ↓ 2014下見	2013FY実 ↓ 2014FY見
	上実	下見				
鋼材消費(万t) *2 (うち製造業)	6,471 (4,048)	3,193 (2,010)	3,278 (2,038)	6,507 (4,083)	+ 85 (+ 28)	- 36 (- 35)
<製造業比率>	< 62.6% >	< 63.0% >	< 62.2% >	< 62.7% >	< - 0.8% >	< - 0.2% >
普通鋼鋼材消費(万t)	5,165	2,540	2,625	5,184	+ 85	- 19
建設	2,295	1,118	1,177	2,297	+ 59	- 2
製造業	2,870	1,422	1,448	2,887	+ 26	- 17
特殊鋼鋼材消費(万t)	1,306	653	653	1,323	-	- 17

*2 当社推定値

(参考)セグメント情報

(単位:億円)

	2014FY 見通し			2013FY 実績	2014上実 ↓ 2014下見	2013FY実 ↓ 2014FY見
	上実	下見				
売上高	56,500	27,784	28,716	55,161	+ 932	+ 1,339
製鉄	50,000	24,662	25,338	48,779	+ 676	+ 1,221
エンジニアリング	3,200	1,553	1,647	3,141	+ 94	+ 59
化学	2,300	1,122	1,178	2,301	+ 56	- 1
新素材	360	182	178	372	- 4	- 12
システムソリューション	1,950	948	1,002	1,798	+ 54	+ 152
調整額	▲ 1,310	▲ 684	▲ 626	▲ 1,231	+ 58	- 79

	2014FY 見通し			2013FY 実績	2014上実 ↓ 2014下見	2013FY実 ↓ 2014FY見
	上実	下見				
経常利益	4,000	1,763	2,237	3,610	+ 474	+ 390
製鉄	3,550	1,591	1,959	3,212	+ 368	+ 338
エンジニアリング	165	48	117	177	+ 69	- 12
化学	90	43	47	100	+ 4	- 10
新素材	20	11	9	13	- 2	+ 7
システムソリューション	155	72	83	127	+ 11	+ 28
調整額	20	▲ 5	25	▲ 21	+ 30	+ 41

(注) 上記予想には本資料の発表日現在の将来に関する前提・見通し・計画に基づく予測が含まれております。
実際の業績は、今後様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。

《参考》既公表案件について

1. 事業統合及び再編に関する公表案件














・既実行案件

年度	時期	案件
2013年度	2013.4月	(日鉄住金物流(株)の発足) 日鐵物流(株)と住友金属物流(株)の統合再編
	2013.4月	(日鉄住金テクノロジー(株)の発足) (株)日鐵テクノリサーチと住友金属テクノロジー(株)の統合
	2013.4月	(日鉄住金神鋼シャーリング(株)の発足) (株)日鐵神鋼シャーリングと(株)シーヤリング工場の合併
	2013.9月	(日鉄住金直江津チタン(株)の設立) チタン素材溶解事業に関する東邦チタニウム(株)との合併
	2013.10月	(日鉄住金鋼管(株)の発足) 住友鋼管(株)と日鐵鋼管(株)の合併
	2013.10月	(日鉄住金物産(株)の発足) 住金物産(株)及び日鐵商事(株)の経営統合
	2013.10月	(日鉄住金テックスエンジ(株)の発足) 太平工業(株)及び(株)日鐵エレックスの経営統合
	2014.1月	(新日鐵住金グループにおける電縫管事業の再編について) 海外事業会社の管理一元化
2014年度	2014.4月	(当社製鉄所組織の統合・再編成について) 製鉄事業競争力の更なる強化を目的とした当社製鉄所組織の統合・再編成
	2014.4月	(新日鐵住金グループにおける電縫管事業の再編について) 販売品種の再編・最適化
	2014.7月	(スラグ販売会社の統合に関する基本合意について) スラグ販売会社の統合・再編
	2014.10月	(設備エンジ・保全系 当社連結子会社8社の経営統合に関する基本合意について) 当社国内設備の総合的な競争力強化、海外事業拠点における設備戦力基盤の確保

・その他既公表案件等

年度	時期	案件
2014年度	2014.12月末～ (2014.5月公表)	(新日鐵住金グループにおける電縫管事業の再編について) 国内生産体制の最適化
	2015.1月 (2014.9月公表)	(子会社株式の譲渡に関するお知らせ) 日鉄住金エレクトロデバイス(株)の全株式の日本ガイシ(株)への譲渡
2015年度	2015.4月 (2014.7月公表)	(新日鐵住金グループ会社の鉄道関連事業の統合再編(基本合意)について) 鉄道エンジニアリング事業の統合再編及び製鋼所製造プロセス会社としての統合再編

2. 主要な海外事業投資の進捗

社名(%: 当社グループ出資比率)		投資額 *	主要設備	製造能力	FY13	FY14	FY15
自動車用鋼板等	 AM/NS Calvert 50% (アメリカ) (ArcelorMittal とのJV)	約 15.5億\$ (買収金額総額)	熱延、冷延 CGL等	530万ト/年 - 熱延	★ 14/2		
	 TENIGAL 49% (メキシコ) (Ternium とのJV)	約 300百万\$	CGL	40万ト/年	★ 13/8		
	 JCAPCPL 49% (インド) (TATA とのJV)	約 400億円	CAPL	60万ト/年		★ 14/5	
	 KNSS 80% (インドネシア) (PTKS とのJV) 	約 300百万\$	GAPL	48万ト/年			FY17 稼働開始
	 NSGT 100% (タイ)	約 300百万\$	CGL	36万ト/年	★ 13/10		
	 ICI 80% (アメリカ) (No4 鍛造プレスライン新設)	約 46百万\$	No4 鍛造 プレスライン	約 130万本/年	鍛造プレス能力 (270万本→400万本)		★ FY15稼働開始
	 BNA 50% (中国) (宝鋼とのJV)	約 11 億元	No4 CGL 新設	42万ト/年	CGL能力 (125万ト→167万ト)		★ FY15稼働開始
 NSCh 42% (中国) (NBC中国の能力増強)	約 32 億元	酸洗・伸線・ 熱処理	42千ト/年			★ FY15稼働開始	
建材	 NSBS 50% (シンガポール他) (BlueScope とのJV)	554百万\$ (グループ総額)	CGL等	140万ト/年 - CGL	★ 13/3 JV設立		
	 CSVC 30% (ベトナム) (CSC とのJV)	約 1,150百万\$ (JV 合計額)	CDCM	120万ト/年	★ 13/4		
	 KOS 80% (インドネシア) (PTKS とのJV) 	約 200百万\$	中小形形鋼、 鉄筋棒鋼、平鋼	約 50万ト/年			FY16 稼働開始

* 合併契約締結時、又は意思決定時における公表数値。

新日鐵住金株式会社

コード番号 5401 上場取引所 東京、名古屋、札幌、福岡

問合せ先 責任者役職名 広報センター所長

氏 名 高橋 望

TEL (03)6867-2130

< 2015年3月期 第2四半期決算 補足情報 >

[全国]

1. 粗鋼生産量

単位:万トン

	第2四半期		上期	第3四半期		下期	年度
	第1四半期	第2四半期		第3四半期	第4四半期		
2013年度	2,808	2,774	5,582	2,814	2,757	5,571	11,152
2014年度	2,767	2,788	5,556	()2,798程度			

()経済産業省見通し

2. 在庫推移

	国内メカ問屋在庫	(在庫率)	薄板三品：熱延+冷延+表面処理	ときわ会H形鋼
	万トン	%	万トン	万トン
2012.10末	554	(139.0)	407	18.4
2012.11末	543	(142.0)	394	18.3
2012.12末	546	(151.9)	392	17.9
2013.1末	549	(146.0)	397	17.7
2013.2末	541	(146.3)	383	18.7
2013.3末	541	(125.8)	385	19.7
2013.4末	544	(143.0)	382	19.2
2013.5末	548	(135.9)	383	19.7
2013.6末	561	(146.0)	386	19.7
2013.7末	536	(127.3)	376	19.0
2013.8末	554	(147.1)	392	18.6
2013.9末	553	(133.5)	388	18.7
2013.10末	561	(135.0)	388	18.0
2013.11末	549	(125.5)	382	18.0
2013.12末	565	(138.5)	393	18.5
2014.1末	576	(136.4)	409	20.0
2014.2末	573	(140.7)	399	22.0
2014.3末	568	(126.6)	411	23.4
2014.4末	567	(139.0)	413	22.9
2014.5末	579	(143.7)	424	23.1
2014.6末	583	(142.8)	420	22.1
2014.7末	558	(130.9)	410	21.5
2014.8末	593	(163.1)	433	21.1
2014.9末*	593	(143.4)		21.3

* 2014.9末は速報値

〔当社〕

3. 出銑量（当社＋北海製鉄＋日鉄住金鋼鉄和歌山）

単位：万トン

	第1四半期	第2四半期	上期	第3四半期	第4四半期	下期	年度
2013年度	1,130	1,147	2,277	1,141	1,062	2,203	4,480
2014年度	1,105	1,160	2,264			2,330程度	4,590程度

4. 粗鋼生産量

【連結ベース】 当社＋国内連結子会社

単位：万トン

	第1四半期	第2四半期	上期	第3四半期	第4四半期	下期	年度
2013年度	1,213	1,214	2,427	1,226	1,163	2,389	4,816
2014年度	1,186	1,216	2,402			2,460程度	4,860程度

【参考：単独ベース】 当社＋日鉄住金鋼鉄和歌山

単位：万トン

	第1四半期	第2四半期	上期	第3四半期	第4四半期	下期	年度
2013年度	1,150	1,152	2,302	1,163	1,101	2,264	4,567
2014年度	1,129	1,159	2,288			2,320程度	4,610程度

5. 鋼材出荷量（当社＋日鉄住金鋼鉄和歌山）

単位：万トン

	第1四半期	第2四半期	上期	第3四半期	第4四半期	下期	年度
2013年度	1,029	1,068	2,097	1,038	1,067	2,105	4,202
2014年度	1,043	1,068	2,111			2,180程度	4,290程度

6. 鋼材平均価格（当社＋日鉄住金鋼鉄和歌山）

単位：千円/トン

	第1四半期	第2四半期	上期	第3四半期	第4四半期	下期	年度
2013年度	82.5	86.3	84.4	86.7	88.4	87.6	86.0
2014年度	87.6	86.0	86.8			85程度	86程度

7. 鋼材輸出比率（金額ベース）（当社＋日鉄住金鋼鉄和歌山）

単位：%

	第1四半期	第2四半期	上期	第3四半期	第4四半期	下期	年度
2013年度	49	47	48	45	45	45	46
2014年度	46	47	46			47程度	47程度

8. 為替レート

単位:円/\$

	第1四半期	第2四半期	上期	第3四半期	第4四半期	下期	年度
2013年度	98	98	98	100	103	102	100
2014年度	102	103	103			107程度	105程度

9. 設備投資額(工事ベース)及び減価償却費

【連結ベース】

単位:億円

	設備投資額	減価償却費
2013年度	2,570	3,318
2014年度	3,200程度	3,200程度

以 上